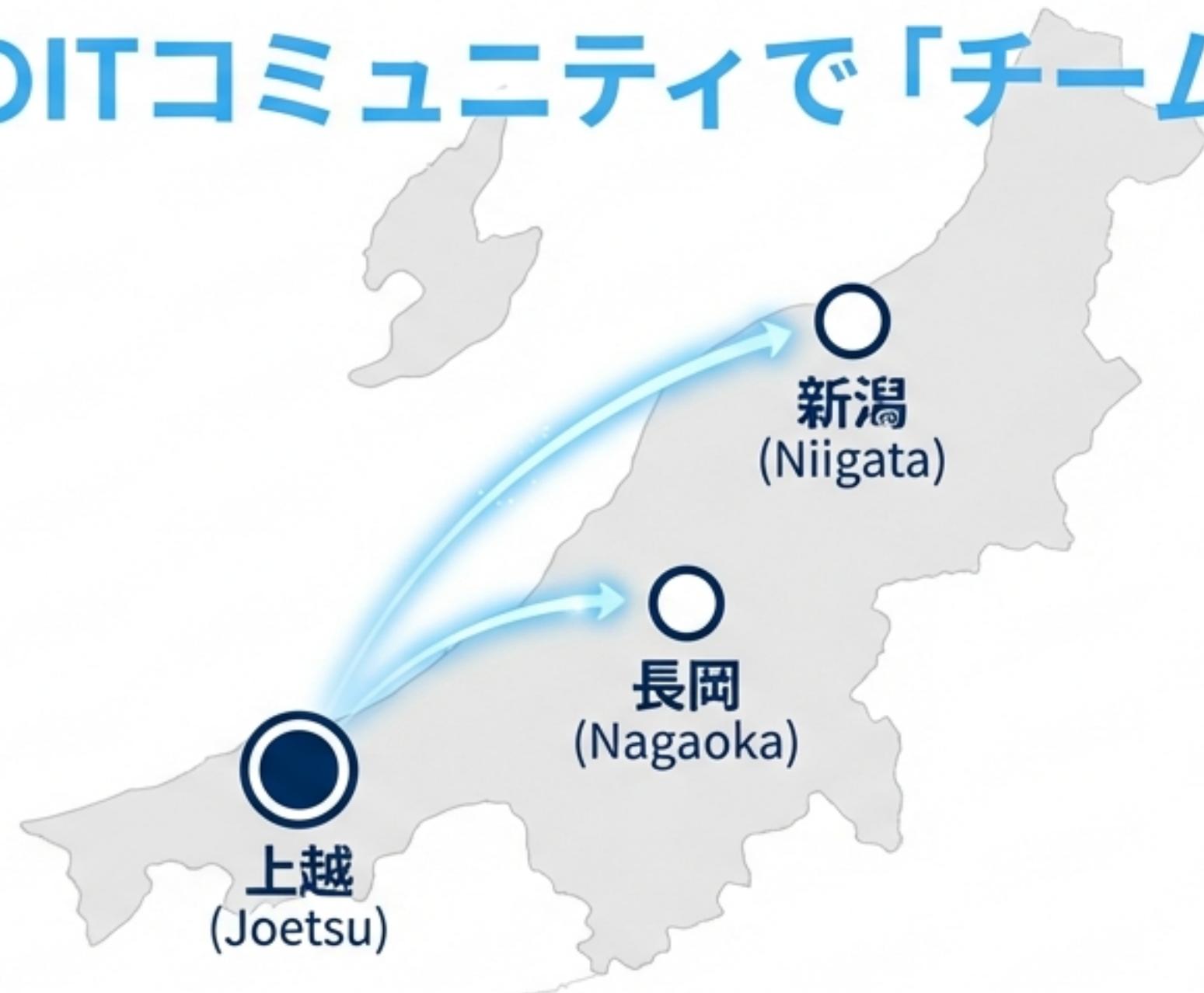


# ORAJAのIT人材の取り組みについて

ORAJA 常務理事 クラスマソッド株式会社 最高情報責任者 植木和樹

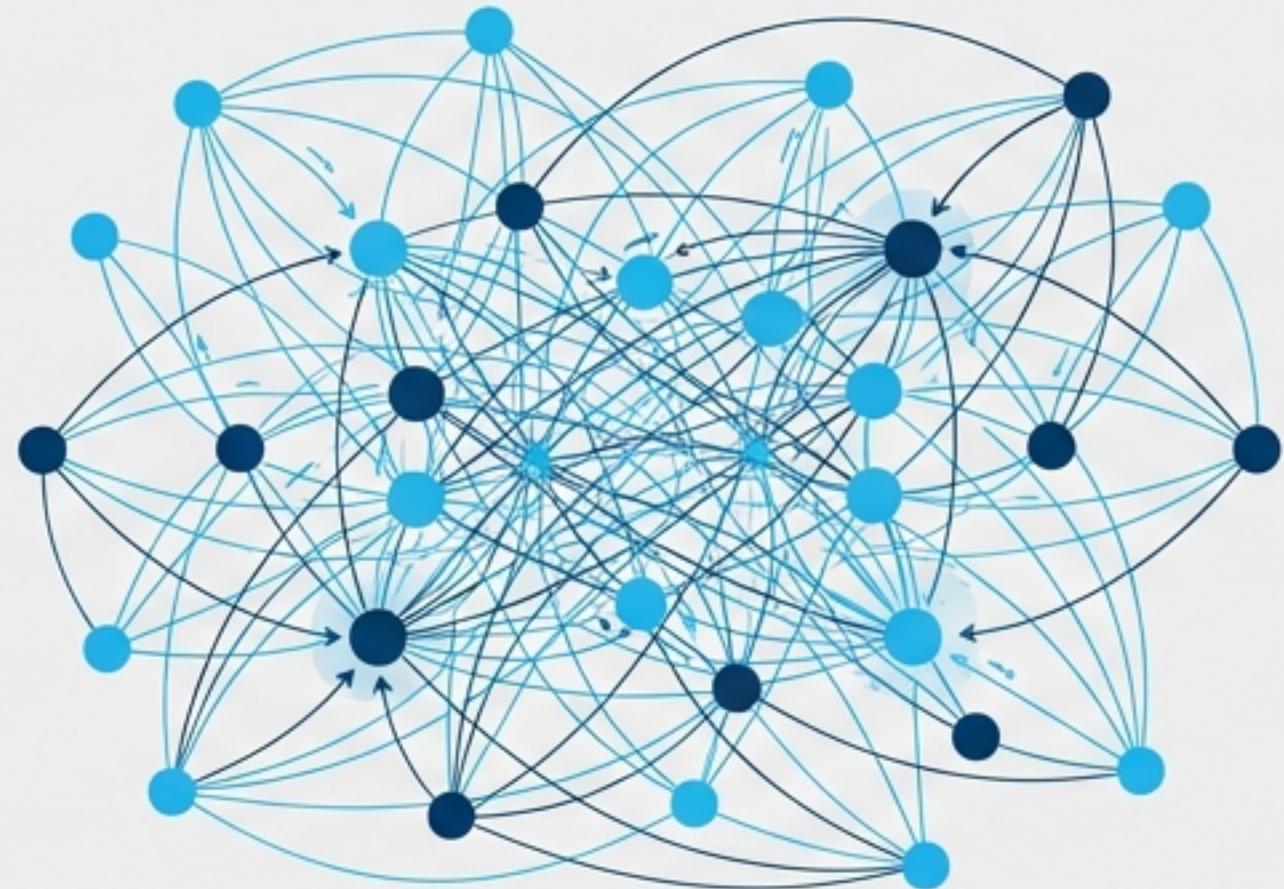
# 上越の挑戦から、新潟の未来へ

## 県全体のITコミュニティで「チーム」を作る



# なぜこの話をするのか？ 東京と上越、2つの世界の比較

東京



2013年に上越へ。東京との最大の違いは、企業を超えた  
人的・技術的交流の場でした。



日々開催される勉強会。多様なエンジニアが交流する文化。

当時の上越



コミュニティは存在せず、孤立感が強かった。



コミュニティは存在せず、孤立感が強かった。

# ゼロからのコミュニティ構築、そして突然の「リセット」



## 2013-2019: 繋がりのはじまり

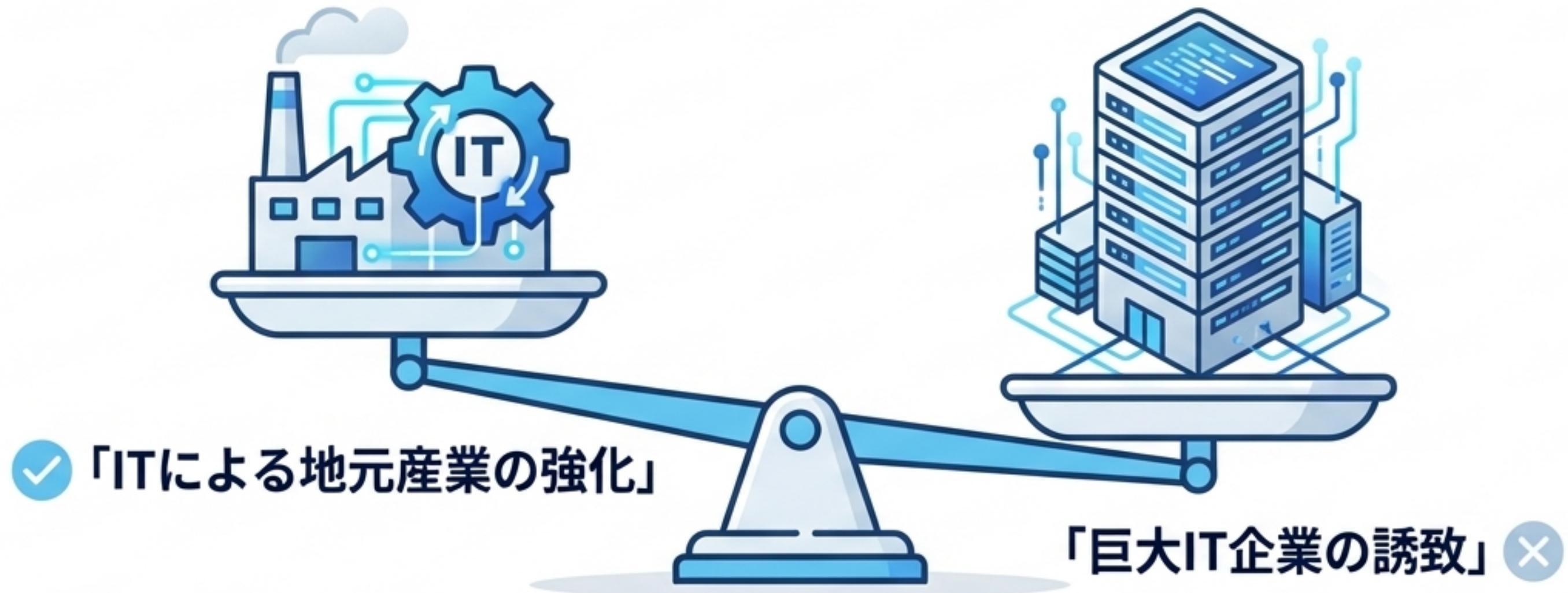
JAWS-UG上越妙高やJoetsu Tech Meetupを立ち上げ。長岡や新潟のエンジニアとも交流が生まれ、相互にイベントへ声をかけあう関係ができた。

## 2020: コロナ禍という壁

全ての対面勉強会が消滅。築き始めた交流が途絶えてしまった。

# 我々の真の目的：なぜITエンジニアを育成するのか？

- ITの仕事は、既存業務の自動化・効率化。究極的には人を不要にする側面も。
- 数百人規模のIT雇用を地域で創出するのは非常に難しい。



現実的な戦略：地域の基幹産業（製造業、建設業など）をITで支援し、彼らの業績向上を通じて雇用を創出してもらう。

# 地域の課題：プレイヤーが圧倒的に足りない



- ・業務外で地域の活動に割ける時間は限られている。  
(ドラクエのレベル上げもないといけない！)
- ・上越は、コミュニティ活動を牽引する「プレイヤー」の数が限られているのが現状。
- ・ミッション：活動に興味を持ち、繋がってくれる仲間を増やすこと。

# 地域のITを支える「情シス」の孤独な戦い

県内企業の多くは「一人情シス」や少人数体制。

その役割は多岐に  
わたる：  
たる：コスト削減、  
セキュリティ、  
機器リプレース、  
DX推進、日々の問  
い合わせ対応…。



共通の悩み：  
「自分のやり方は  
正しいのか？」  
「他社はどうして  
いるんだろう？」  
という不安と、  
相談相手の不在。

# 企業の「DX不安」と情シスの「孤立」。根っこは同じ。

## 企業側の声

ペーパーレス、人手不足、生成AI活用…  
漠然とした業務改善への不安。

## 企業のDX課題

## 情シス側の渴望

「ベンチマーク」と「他社事例」が  
知りたい。

## 情シスの情報不足

相談相手と交流の場の欠如

結論：どちらも、信頼できる相談相手と情報交換の場を求めている。  
この課題の根源は共通している。

# 未来への種まき：10代のIT体験が5年後、10年後の資産になる

- コロナ禍で見つけた新しい光が「U16プログラミングコンテスト」。
- 長期戦略：まず10代にITの楽しさを知ってもらう。



5~10年後、彼らが社会人になり業務効率化で困った時、「あそこのコミュニティに行けば相談できる」と思い出してくれる。それが未来のセーフティネットになる。

# 現在を繋ぐ：「デジタル・ITキャリアフェア」の役割

- IT企業だけでなく、情シス人材を求める一般企業も対象。
- クラウド時代であっても、ネットワークの末端など、現場で対応する人材は不可欠。この人材不足は地域全体のIT化を滞らせる。

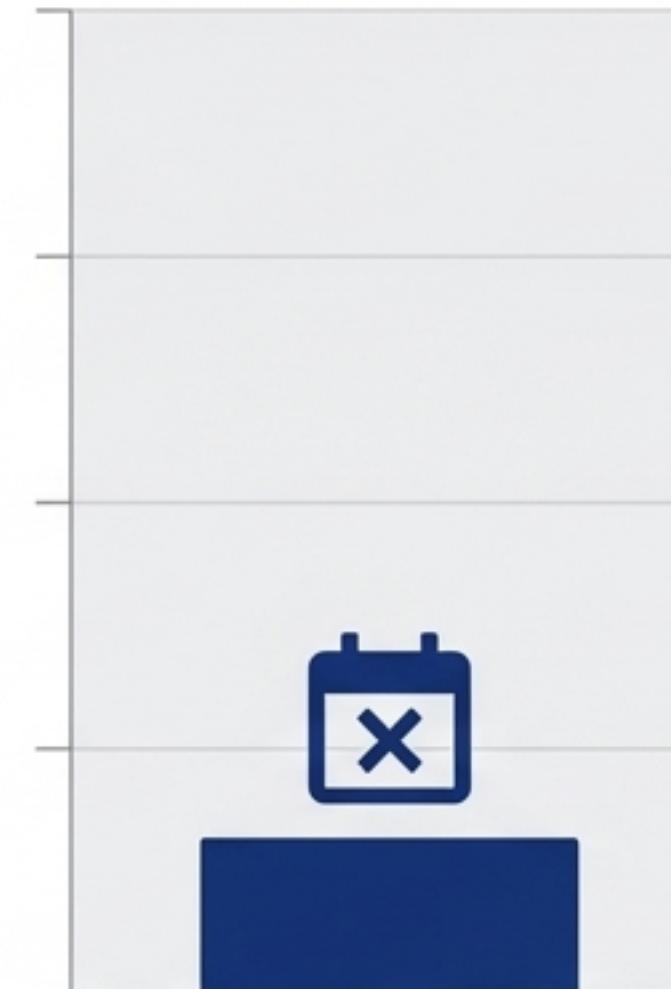


目的：ITで働きたい人と、IT人材を求める企業を繋ぐマッチングの場。  
困った時の相談窓口としてのコミュニティの入口にも。

# 上越の現状：集まる文化は無いが、イベントへの熱量は高い

## 課題 ↑

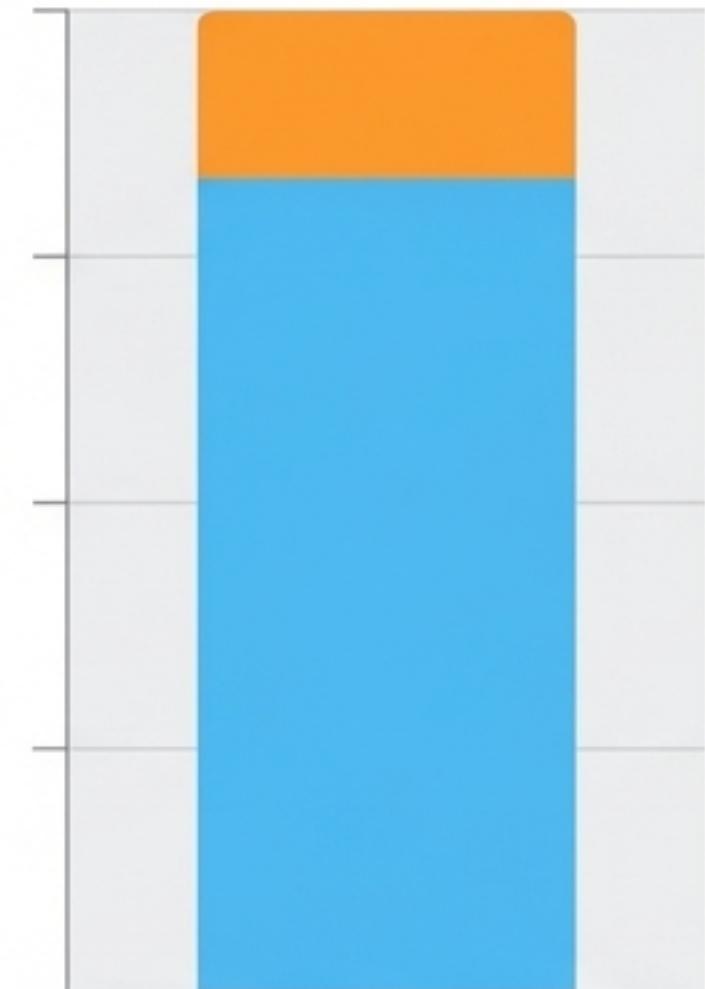
定期的に広く集まるコミュニティは少ない。  
理由は「集まる文化の不在」と「プレイヤー不足」。(U16, もくもく会は活動中。JTM, JAWS-UGは休眠/再起動中)



定例勉強会

## 希望 ↑

JAWS-UG北陸新幹線やKome Kaigiのような大規模イベントには、上越から多くのエンジニアが参加したいと考えている。



大型カンファレンス

# みなさんへのお願い：新潟県全体で「チーム」になりませんか？

そこで、ここに集まった  
新潟・長岡の皆さんに  
お願いです。

上越からも、長岡のAI  
ハッカソンのような取り  
組みを地域に持ち帰り、  
県全体の活動に繋げた  
たいと考えています。



皆さんのがイベントを実  
施する際に、ぜひ上越  
のエンジニアにも声を  
かけていただけないで  
しょうか。

このENOOG88を、県内の  
人的ネットワークを繋  
ぎ、交流を深めるきっ  
かけにしたい。

# 協力によって生まれる価値



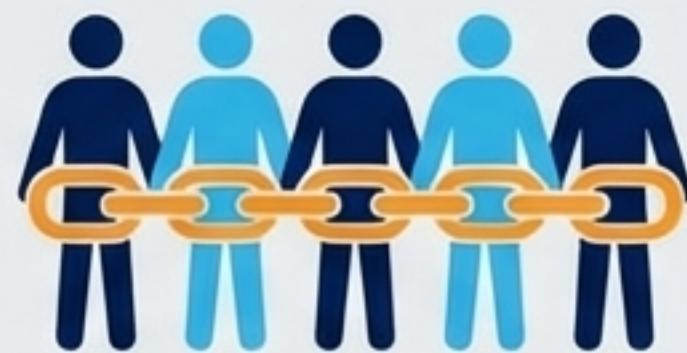
## 技術交流の活性化

都市間のエンジニアが  
交流し、新たなアイデ  
アや知見が生まれる。



## 情シスの課題解決

他社事例の共有が容易  
になり、県内全体のIT  
レベルが向上。



## 強力な人材 パイプライン

県全体で若手を育成  
し、魅力的なキャリア  
パスを提示できる。



## 「新潟ブランド」 の確立

活発なITコミュニティと  
して、県外へのアピール  
力が高まる。

# 次のクエスト：我々が目指す未来の活動

もし、この連携が実現したら、こんな未来を描いています。



新潟ITコミュニティ・  
リーダーズ・サミット  
  
各地のリーダーが集まり、  
県全体の戦略を議論する場。

LOCKED



業務改善相談  
常設ブース

地域の企業がいつでも相談  
できる窓口。

LOCKED



地域DX活動の  
共同実施

地元の専門学校生も巻き込み、  
実践的なプロジェクトを推進。

LOCKED

# このENOG88を、新潟全体のネットワークが繋がる第一歩に



ITで地域を面白くする。その主役は、ここにいる私たちです。  
一緒に新潟をレベルアップさせていきましょう。